

# 平成 年度安全衛生管理計画書（専門工事業者の店社の作成例）

安全衛生方針	
1. 求められている安全（品質）の基準を満たし、信頼を得る 専門工業者を目指す。 2. 安全衛生法令、元請基準を遵守し、安全衛生マネジメントシステムを実施運用する。	
危険有害要因の特定	
1. クレーン災害（資材等揚重作業における飛来落下） 2. 墜落転落災害（作業床端部、可搬式足場等からの墜落転落） 3. 鉄筋等の取扱災害（鉄筋を持つての移動、配筋作業における激突、接触、転倒、はさまれ） 4. 夏季作業における熱中症災害 5. 本社・作業所の管理体制が十分に機能していない	
昨年（平成 年）の休業災害件数 （うち休業4日未満の件数）	件（ 件）

安全衛生目標
<b>休業災害をゼロにする</b>
1. 不安全行動の排除  2. 危険有害要因の排除

安	管理・責任者	役職名	氏名
安全衛生管理体制	担当役員		
	雇用管理責任者		
	総括安全衛生管理者		
	安全管理者		
	衛生管理者		
	安全衛生推進者等		
	工事担当責任者		

常時使用する労働者
100人以上の場合  
50人以上の場合  
10人以上50人未満の場合
総括安全衛生管理者を  
安全管理者、衛生管理者、産業医を  
安全衛生推進者（又は衛生推進者）を選任

実施事項	目標	年間（年度）スケジュール												実施上の留意点	実施担当		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
1-1 特定作業計画書の作成、指導	新規入場の立会い時に指導	←														資格の確認 トップ管理者の積極的実施	課長
1-2 玉掛作業手順の遵守	協力会社末端までの周知徹底	←															
1-3 立入り禁止措置の徹底	100パーセント	←															
1-4 玉掛、クレーン資格者作業の厳守（指名）	100パーセント	←															
1-5 安全パトロールによる確認、指導	2回以上/月	←															
2-1 可搬式足場の始業前点検の実施	毎日（使用の都度）	←														トップ管理者の積極的実施	班長
2-2 可搬式足場の適正使用の遵守	100パーセント	←															
2-3 作業床の確認、確保	事前打合せの徹底・作業開始前の確認	←															
2-4 墜落危険箇所における安全体の使用の徹底（効果的な使用）	100パーセント	←															
2-5 安全パトロールによる確認、指導	2回以上/月	←															
3-1 K Yにおける作業内容の確認	毎回	←														全員の積極的参加 全員の積極的参加 全員の積極的参加 トップ管理者の積極的実施	班長
3-2 作業エリアの確認	毎日	←															
3-3 声の掛け合いの徹底	毎日	←															
3-4 安全パトロールによる確認、指導	2回以上/月	←															
4-1 熱中症に対する早めの指導・教育	6月初旬より			←												早めの指導教育の実施  有所見者に対するフォロー	課長
4-2 熱中症対策用品の配布	6月（安全衛生協議にて）				←												
4-3 K Y等における健康状況の確認と適正な配置（監視）	随時				←												
4-4 安全パトロールによる指導・教育	2回以上/月				←												
4-5 定期健康診断の実施（診断結果による指導）	受診率100パーセント							←									
5-1 本社・作業所の安全管理体制の明確化	8月末日作成														←	トップ管理者の積極的実施 トップ管理者の積極的実施 トップ管理者の積極的実施  社長の訓示（作業員に伝達）	部長
5-2 事業主パトロールの実施	2回以上/月	←															
5-3 現場新規入場時の立会い及び教育	6回/年（隔月）		←		←		←		←		←		←				
5-4 幹部職員及び協力業者代表による合同パトロールの実施	随時（乗込み初日）	←															
5-5 安全衛生委員会・協議会の定期的開催	毎月第3土曜日	←															
5-6 安全衛生大会の実施	1回/年（9月）	←															
5-7 元請・作業所等の行事の積極的参加	随時	←															

注）この書式は参考書式なので、自社が定めた書式を使うことで、差し支えありません。